

中島 健太郎

島のしくみ

与論島とは東洋の海に浮かぶ一個の真珠であると呼ばれている。
この島の周りには、エメラルド色の海がありその中に島をとり巻くリーフが発達し美しいサンゴの森の中には色とりどりの美しい熱帯魚が乱舞しているといふ。このような美しい島を目的に、全国からいろいろな人が年間を通じて入水かかり立ちかかりや、て来るようになった。

与論島には、琉球歌系や奄美本島系の歌曲とは異なる系統の古い歌曲が歌われている。その中には日本固有の歌曲ではなからうかと思われるものが著も伝わっている。ウモエ歌とは八十餘以上の高齢者、母の歌う歌詞と楽曲を記述し採譜したものであり、その一つであるがこのような固有の古い歌曲は、カテーが変化したり、忘れられつつあたりして、しだいに衰えつつあるといわれている。また、与論島の風習に関しては、既に妊婦がいる場合には、屋根の葺き替えはできないし天は他家の屋根葺きや柱の釘打ち壁にを結ぶことなどが禁じられているという。これは難産を恐れていることに基づいているからだとのことだ。また金櫃や石櫃を振り上げて石を割ることや死者の息の絶えを最後を見届けること、墓地に物を運ぶことなども禁じられておりこれは、安産にたいまようするとい言われられていることから始まったという。

実際に本島が集中講義を通して与論島を訪れた時、とも早く目にとびこんできたものは、ものすごくくまらった海だった。

今まで海に行くきかいはあまりなかった自分にはすごくうけまわした。これは行ってみなければ決して味わえないことだが、実際集中講義が無ければ与論島を訪れるきかいはなかったと鬼。訪れる以前は名前を耳にしたことがある程度であり、しょうじとどこにあるのかさえも知らなかった。島内へ入り村を歩こうとしてみたが店の前を通りすぎるたびに地元の方々が声をかけてきてくれて果物などその島原産の物を食べさせてくれた。道を訪ねると親切に対応してくれたり島の人々の温かさのおかげで、これだけ鬼力な物がありながらさき書いたように与論島に関する情報はまったく知りませんでした。島内を見学したときも観光として訪れているような人々はいりみかけず、静けさを感じました。夏休みに鹿児島空流を訪れた時、与論島のパニフレットは一度ありましたが、その他の奄美や屋久島などに比べるとやはり小さいように感じました。もと目をアクのようにするためには、キーキャラクターなどを作ってみるのが一番よいと考えます。

真へつづき

私は熊手が10元でありクモニが100元が100元あるキャラクターのえいせいというものはすばしいと感じます。

急にキャラクターを作っても経済効果などはあまり望めないと思いますか？
トハリマは与海島とこのことを知ってもらうことから始めないといけないと考えます。